平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	大分の産業(Industry in Oita)			授業コード	A020301
担当教員名	島岡　成治、池畑　義人、吉村　充功			科目ナンバリングコード	A20205
配当学年	2	開講期	前期		
必修・選択区分	全学部　選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	特にありませんが、まじめに受講することです。				
受講心得	本学の建学の精神である「産学一致」を理解するために重要な科目です。真剣に受講して下さい。本科目は受講生が多いため、他の学生の迷惑になることは厳に慎んで下さい。				
教科書	特に無し				
参考文献及び指定図書	菅幸雄『温故知新』大分合同新聞文化センター、1991年				
関連科目	社会参画応用、社会参画実習2、起業学、就職基礎講座、就職講座、就職活動実践講座				

授業の目的	本科目は本学の建学の精神であり、教育理念の1つでもある『産学一致』を象徴する科目として、その意味を正しく理解し、自らがその理念で求められている姿勢や考え方を実践できるようになることを目的としています。現代社会は、急激な少子高齢化、グローバル化、知識基盤社会の到来、自然災害の多頻度化など、これまでの日本が直面したことのない状況にさらされています。このような状況を乗り切るためには、これからの社会を支える若者一人ひとりが、現代社会の変化に柔軟に対応し、自ら進んで局面を打開できる力を養うことが必要です。本科目では、大学と産業界、社会、地域を切れ目なくつなぐことを意識しながら、学生の皆さんが良き社会人、市民として活躍するためのキッカケをつかむことを目的とします。
授業の概要	本学では、『産学一致』の精神に基づく人材育成の方針として、「時代の変化を捉え、柔軟な発想で、課題解決のできる人材を育成する」ことを掲げています。これらの基本的な理解、考え方を修得するため、本科目では、自校教育、自校愛の目覚め、大学教育史と現代の高等教育に求められていることなどを最初の数回の授業内容として展開し、その後、日本の産業構造、九州・大分の産業の特徴と現代の若者に求められている能力を社会の変化と関連づけて理解できるように授業内容を展開します。また、産業界の第一線で活躍する企業経営者などをお招きし、産業界の目線から若者に求めていることを率直に講演いただく機会も設けます。より良い学修環境を提供するため、できる限りアクティブラーニングの形式で授業を展開します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： ガイダンス(全教員) 本学の建学の精神と教育理念をあらためて説明し、皆さんの現状と意識調査をしながら、本講義で何を学ぶのかを説明します。	ワークシートを完成させ提出
第 2 週 ： NBUの沿革・使命と地域社会の未来 (自校教育)(島岡、吉村) 日本文理大学の沿革を説明するとともに、なぜいま高等教育が求められるのか、地域における大学の存在意義について説明します。	ワークシートを完成させ提出
第 3 週 ： 産業とその分類とは？ ー九州の産業構造(島岡、吉村) 『産学一致』の建学の精神が示す通り、本学にとって産業界を正しく理解することは学業の意味を理解する上でも重要です。まず、日本の産業分類をおさらいし、九州の産業構造、特徴について説明します。	ワークシートを完成させ提出
第 4 週 ： 大分青年会議所(JC)特別講演ー青年指導者からのメッセージ 地域の青年リーダーの集まりである「大分青年会議所」の理事長他、メンバーの方々から青年会議所の取組を紹介いただくとともに、今の若者に何が求められているのかを具体例を交えながらご講演いただきます。	ワークシートを完成させ提出
第 5 週 ： 九州の産業界が若者に求めること・大分の産業の現状(吉村、池畑) 九州の産業界、企業が現代の大学生、若者に何を求めているのか、新入社員をどのような視点で育成しているのかを実際の調査結果をもとに説明します。また、大分県内の産業、企業の状況についてその特徴を説明します。	ワークシートを完成させ提出

第 6 週 ： 若手社会人・新入社員の理想と現実（吉村） 産業界で活躍するためには、働くことの理想を持つと同時に現実を知ることも大切です。若手社会人・新入社員に対する全国調査結果などを元にその理想と現実を説明するとともに、自分自身のワークライフバランスを考えてみましょう。	ワークシートを完成させ提出
第 7 週 ： 会社の役割（池畑） 全国には多くの企業が存在しますが、同じ業界の企業であっても、それぞれの会社の役割や社風はそれぞれ異なります。ここでは、具体的な企業の例を挙げながら、会社が社会で果たす意味や目的を考えていきましょう。	ワークシートを完成させ提出
第 8 週 ： NPO法人NICE特別講演 現代社会では社会人としてただ働くだけでは十分ではなく、地域、社会に貢献していく姿勢が求められます。NPO法人NICE（日本国際ワークキャンプセンター）事務局長より、「企業人にも求められるボランティアマインドと活動の意義－国際ワークキャンプを例に」をテーマにご講演いただきます。	ワークシートを完成させ提出
第 9 週 ： 大分が輩出した著名な実業家、有名人（池畑） 大分の特徴として、著名な政治家、実業家、財界人を多く輩出していることが上げられます。具体例を挙げながら、そのようなリーダーが多く輩出される背景を説明します。	ワークシートを完成させ提出
第10週： 大分の1次・2次・3次産業と6次産業化（池畑） 大分の産業の特徴として、1次産業から3次産業までバランス良く存在していることが上げられます。その特徴を説明するとともに、近年活発に見られる6次産業化についてその意義と目的を説明します。	ワークシートを完成させ提出
第11週： 産業界が要望するチカラの本質は何かを考える①（吉村） ここまでは産業界の現状や若者に求めていることを紹介してきましたが、若者に求めているチカラの本質を理解するためには、実際の場面を想定し、自らその本質を考えていく必要があります。ここでは、具体例を紹介するDVDを視聴し、グループディスカッションを交えながら、議論を深めます。	ワークシートを完成させ提出
第12週： 産業界が要望するチカラの本質は何かを考える②（吉村） 前週に引き続き、別の具体例を紹介するDVDを視聴し、グループディスカッションを交えながら、議論をさらに深めます。	ワークシートを完成させ提出
第13週： 大分アラカルト①（池畑） 大分の特徴について、産業界のみならず、その他の分野について、実際の数字を全国と比較しながら説明します。ここでは、人口や土地利用、資源の特徴について紹介します。	ワークシートを完成させ提出
第14週： 大分アラカルト②（池畑） 前回に引き続き、大分の特徴について、産業界のみならず、その他の分野について、実際の数字を全国と比較しながら説明します。ここでは、労働や消費、NPOなどの社会貢献活動などの特徴について紹介します。	ワークシートを完成させ提出
第15週： 講義総括（全教員） これまでの講義をふり返り、「自校教育と地域貢献の関連性」、「九州の産業と将来への展望」を考えます。	講義全体に関する課題を作成し提出する
第16週： 期末試験 期末試験は実施しません。	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①母校の成り立ちを正しく理解し、母校に誇りを持てるようになる。
【知識・理解】	②大学の建学の精神、教育理念を正しく理解できる。
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	③大分や九州を取り巻く産業界の現状について正しく理解し、自分たちに求められている能力や使命が適切に判断できる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		13点		
【知識・理解】※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		32点		
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】※「考え抜く力」を含む。		55点		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	毎回提出するワークシート（5点×14回＝70点）、最終課題（15点×2課題＝30点）で評価。 達成水準の目安は以下の通りで、最終課題はルーブリックによる評価とします（課題発表時に提示します）。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他（無形成果）	